

学校名 行田市立行田中学校
所在地 行田市佐間3-3-8
電話 048-556-9196

1 本校の概要

本校は『学べ 鍛えろ 夢を持って』を学校教育目標とし、一人一人が成長できる学校づくりに取り組んでいる。図書活動推進教員2人が月2回、読書活動の支援を行っている。また、市立図書館と読書活動の充実のため連携を密にしている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 市立図書館との連携による読書活動の取組
- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

ア 市立図書館との連携による読書活動の取組

- ・ 図書委員を対象にしたビブリオバトルの実施

- ・ クラスへの「移動図書館」の設置

図書委員が市立図書館に出向き、ヤングアダルトコーナーより20冊を選書。各教室で読めるようにした。学期に1度入れ替えを行っている。



- ・ 各教科等における学習に結び付けた取組

各学年に市立図書館職員にゲストティーチャーとして来ていただき、各教科の教員と連携した授業を行った。

- ・ 国語科1年生 POP作り

- ・ 総合 1年生働く人々に学ぶ

(図書館職員、司書)

- ・ 国語科2年生 ビブリオバトルの実施

- ・ 家庭科3年生 保育に関連した読み聞かせの本の選書と読み聞かせ方



イ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

- ・ 学校図書館内特設コーナーの設置

「食欲×読書」「キャリア×マンガ」「大河ドラマ特集」「教科書教材関連本」「受験関係」など。

- ・ 月1回の図書だよりの発行

- ・ 各学級に20冊の学級文庫の設置

読書意欲を高めるため、新しい本が教室に並ぶようにしている。「移動図書館」の本と合わせ、合計40冊の本が教室に置いてある。

- ・ 読書週間に合わせた行田中読書週間の実施

「校内読書マラソン」「読書の木」「先生方へのおすすめ本の掲示」を行った。「読書マラソン」は1か月間のページ数を集約し、図書委員長が表彰している。「読書の木」の作成では、廊下に、読書週間前は紅葉の型紙に「自分のおすすめの本紹介」、読書週間後にはイチョウの型紙に「読書マラソンで読んだ本の感想」を掲示した。



- ・ お話給食の実施

読書週間に合わせて、本校の栄養教諭と相談しながら、本の中に出てくる料理を給食で再現した。「三匹のくま」より【ニンジンとかぼちゃのスープ】、「アンの青春」より【チキンのトマトソースかけ】を市内小中学校へ給食センターの協力のもと提供した。市立図書館にも紹介コーナーを作ってもらい、市民にも広く周知できた。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 学校図書館と市立図書館がつながりをもったことで、より専門的な委員会活動や授業において充実した活動を行うことができた。1年生のPOP作り後には、市立図書館にコーナーを設置してもらい、本とともに作ったPOPが飾られ、自分の作ったPOPの本が貸出されているのを見て生徒も喜んでいて。また、POPのついた本の貸出が市民からも好評だったと聞いた。

イ 生徒たちは、「読書の木」の掲示物前で立ち止まり、仲間がどんな本を読んでいるかを興味深く見ていた。「読書マラソン」では仲間同士で競い合いながら2万ページも読む生徒がいたり、一言感想を記録用紙に書いたりすると全校生徒で取り組むことができた。

(2) 課題

朝読書や読書マラソンで読む本は個人購入の本が多く、学校図書館の利用率につながっていないため、各取組を図書の貸出と関連付けをする必要がある。